

# JAITI 4

Japanese Agricultural Inservice Training Institute

JAITIとは、「日本農業研修協力団」の英文、  
Japanese Agricultural Inservice Training Instituteの略文字  
の略で「ジェイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基礎  
とする、アジア・アフリカ諸国の農村地域社会の人々が、  
「生きる権利」の食料を安定確保することで、生活の中に  
基礎的な教育と公衆衛生に目を向ける夢と夢を持ち、困難  
で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動  
が展開されています。

発行 ジャイチ 発行人 菊池健介  
住所 座385-05 長野県小県郡武石村沖450  
TEL0268-85-3465 FAX0268-85-3583

## JAITIの活動

今年四月、ネパール王国  
シンパンジャンに、十一年制  
の農業実践学校、校名は、  
「アングラール・バイダヤ、  
パチカ・スタール」日本語  
訳で「芽生え教育の庭」が  
開校します。

最初に入学する、五、六  
才児の一年生、二十五名は  
既に決まり、小さな駒を、  
ときめかせて、入学式を待  
っています。

この学校の開校により、  
既存の「カカニ実践研修農  
場」と共に、ジャイチの、  
ネパールでの活動拠点作り  
の、第一段階の地歩が固ま  
りました。四年半掛りまし  
たが、揺るぎない基礎作り  
が出来たと、自負しており  
ます。

学校開校前に、教室棟施  
設の清掃、校庭、敷地の整  
備等の準備のお手伝い、そ  
して、生徒連との面会に、  
文京女子大学、山下ゼミナ  
ール教室の学生さんが、山  
下教授と共に、シンパンジ  
ャンへ、出向いて下さるこ  
とも決まりました。

カカニ実践研修農場は、  
松浦指導員が、日本の家族  
の元へ帰る時間も惜しんで

まで、カカニに滞在して、  
熱心に指導して下さるお蔭  
で、地域の農業改良普及所  
的な役割を果たし始め、近在  
農家の人々が、志望して開  
校を共にし、子弟を研修  
生として送り込んでくるよ  
うになりました。

昨年は、ジャイチを支援  
して下さる方々が、ネパー  
ル文化の紹介を含め、ジャ  
イチの広報活動を、各所で  
率先して開催して下さいま  
した。

九月から十月にかけて二  
週間、トヨタオート長野株  
式会社諏訪営業所の、ショ  
ールーム、十月から十一月  
にかけて六週間、トヨタビ  
スタ名古屋株式会社空港北  
営業所、ショールーム、十  
月三十一日と

十一月一日の  
二日間、埼玉  
県大井町の、  
文京女子大学  
学園祭、十一  
月十四日と十  
五日の二日間  
東京都世田谷  
区、東京都  
立飛雲高等学  
校、園芸展で、

明治公園での「国際フェスティバル」  
でのパネル展示

その後、十月三日・四日は  
東京明治公園で開催されま  
した「国際協力フェスティ  
バル」にも参加して、ジャ  
イチの輪を拡げて頂きました。

主催された方々は皆さん  
「ボランティア」の本来の  
姿である「奉仕」を充分理  
解されていて、白らの努力  
提供は固より、ジャイチ事  
務局への、資料、展示品の  
引取り、返納も全て、参加  
下さる方白らの時間と、費  
用で賄って、ジャイチには、  
一切の負担を掛けない配慮  
をして下さり、とても有難  
いことと、感謝しております。

昨年より始めました、奨  
学生制度は、二組が繰返み



▲近藤愛子さん支援のラニパワの学校、建設中の写真で今は完成して使用しています

## ネパールからの最新情報

昨年、ネパールの国際空港  
では、タイ航空とパキス  
タン航空の、二件の悲しい  
飛行機事故が起きました。

世界に流れた報道により  
ますと、カトマンズのトリ  
アパン空港は、世界でも最  
悪条件の飛行場のように言  
われております。

しかし、この二件の事故  
の前後に着陸した、ネパー  
ル国営、ロイヤルネパール  
航空機は、全く問題無く着  
陸しています。

不運が重なった事故であ  
ったのに、全てが、空港施  
設の不備であるかの如く、  
報道されて、とても残念で  
す。

今、ネパールは航空機時  
代の幕開けを迎えています。  
国内航空会社は、更に一  
社増え、現在四社になりま  
した。

深い谷と、急斜面の山々  
の多いネパールでは、道路  
を造ることは、山肌を削り  
切断することで、人為的に  
土砂崩れを起こす、大きな  
要因を作ります。

飛行機による交通網整備  
は、自然保護の上からも、  
とても良いと思います。

国外からは、十一カ国の  
航空会社が、安全に乗り入  
れています。どうぞ、ご心  
配なく、ナワン・シェルバ

して、全寮制学校に通学し  
ています。

又、新規に引受けて下さ  
る方の申し出も、順次出現  
しており、現在、ネパール  
の事務局で、推薦児童の選  
考を進めています。

ジャイチがネパールで開  
校に支援している、近藤  
愛子さんの、ラニパワの学  
校建設の進展は、地元の学  
校運営に携わる人々の努力  
もあり、ネパール政府から  
の補助も出て、四教室が出  
来上り、屋根も口も窓もあ  
る新教室で、子供達は勉強  
を始めています。

郵便局で無料配布されて  
います。「国際ボランティア  
ア貯金」レポートINGO  
活動状況報告、平成四年度  
版にも、ジャイチの活動が  
掲載されています。併せ、ご  
覧頂けましたら、幸に存じ  
ます。

事務局長 菊池健介

# ギンナン 銀杏に想う

内田 まゆみ

ジャイチレポート二号に芽生えたとばかりのイチヨウの写真が載りました。もしやと思いましたが、やはり我が家の銀杏がネパールで無事芽を出したのです。薄くなら実の成る方がよいと、離れらしきものを選んでジャイチにお渡ししておいたものでした。あの小さなイチヨウが成長して実をつけるまでには何年かかるのでしょうか。

私が初めてネパールを訪れたのは昨年の夏。ただ世界の屋根ヒマラヤを一目見たい一心でした。ところが雨期のため山は全く見えず、それよりも人々の生活、とりわけ子供達の目の輝きにすっかり魅せられてしまいました。婦りにこのジャイチの方とお会いできたというのも、単なる偶然だけではない気がします。そしてこの出会いが、その後の私の生き方、考え方をすっかり変えることになりました。四度目になる今年の十一月の訪問では、ボカワから山の上の村ダンブスまでミニトレッキング。Sさんと二人でのんびりと二日間、アシナブルナ・マチャブチャ

レ等の白い峰々を目近にして感銘しました。灯りも音もない静かな山の夜。なんと小さなホタルが飛び交っているのを見つけた。それはまるで子供達が昼間だけでは遊び足りず、夜になっても山から谷へと自由に気ままに駆け回っている妻のように思われました。「山」と言えば「ヒマール」。

神々の座す山の麓で、毎日裸足でとび回っている子供達。旅の間、沢山の澄んだ瞳と人なつこい笑顔にとり囲まれました。我家からいったイチヨウが実を付ける頃、あの子供達

の子供かもしれないけれど、一緒に銀杏の緑色の実を口にすることができたら。あの強烈な臭いに、ギンナンの形のつぶらな味はどんな反応をみせるでしょうか。

想いは果てしなく広がって、又、豆電球がチラチラと輝いているような夜のカタマンズの街を眼下に、トリアバン空港に降りている

内田さんは、今、私にできることは、資金支援といつて毎日とボーナス月に、送金して下さる女性公務員。

木枯らし吹く北国から、カトマンズ・トリアヴァン空港に降り、思いも掛けなかったマリゴールとキタの花の首飾りをかけて貰い念願のネパールにいきさかの違和感もなくホテルに到着した。丁度、一年前、ネパールで学校建設、農場造成に情熱をかけているジャイチを知る機会を得たのが、今回参加を決めた動機でもある。

子供たちは、どんな様子で学校に通っているのだろうか。カカニの農場はどんなところか。どんな作物を栽培しているのだろうか。高揚する気持ちに引き寄せられていた。

違いになるが、以前は、ヒマラヤやカラコルムの山々への登頂記録や写真などをみては、一度は近づきたいものと願望の念を強めていたものだから、山を眺めたいという目的もあった。

同行のメンバーは、中広い年齢層であったが、積極的に見て参こう精神を体に出して参らせており私もその一員として楽しい旅を過ごせた。

標高二、三、五〇米のシンバジヤンの学校は、校舎が一枚、教員住宅、グラウンド学校への道路が出来ており私たちが訪問した時は、子供たちは、授業中であったが、教室の窓からのぞき込む。床に真に座わり、ノートを置いて勉強していた。思わず、机や椅子を何とかしなければ。しかし、道具や物を揃え

ればよいものではないのだろうか。この学校へ来ることを来させることが、一つ前進であろう。

これからも、まだまだ、村舎由祈があるかも知れないが、五、四〇〇坪の土地所有にいたるまでの苦勞なほど聞くに如何なる状況にも果敢に処理されていく能力が備わっていると思われる。

元氣な子供たちをみて、最初の卒業生が出る時は、是非、お祝いに駆けつけたものであると心機かに思っている。

「カカニ農場」は、気持ちの落着くかなかなか良い場所にある。近くに国有林の緑があり水の便、電気カトマンズから二十五キロという利便性ヒマラヤが展望出来る等々選定の目の確かさであろう。標高一、八〇〇米のカカニに一番適した作物は何であらうか。とにかく、まず行動に移してやってみるという精神、数年後には、適作物が見出されていることだろう。試作のいちご「女峰」はどんな実をつけるだ

らうか。植林されたカマツバ、いちごが順調に出荷される様子想像するの楽しいものである。

カカニの丘の近くでみた大根の収穫の様子。葉っぱは捨てないでろうなど心配してみたり、非常に赤い茎でピンク色の花が咲いている蕎麦、どんな粉がとれるのか、蕎麦がきにして食べたみたかったなあ。

実はそれは難かしいとの話もあったが、りんごはどうだろうか。市場で評価される作物が育っていく農場、地域農民のために役立つ農場にと、蕎麦を考えて、農場責任者の松浦氏は苦勞さを感じていると思う。

マナージャーのハリーさんが教えていた寺小屋の小さな子供たちの素直な瞳が印象に残っている。そして、何処に行ってもオーバードでなく小さな花が飾ってあったこと、心豊かな人々と出会えたことは大きな収穫だった。ネパール



街を案内してくれた通訳氏にトレッキングの手續さなど聞き、実現させたいものと考えているが、何よりもネパールが又心豊かに迎えてくれるような気がしてきました。近い将来、足が自然に歩かすであろう。

内田さんは、時間を有効に使う術の長けた人。盛岡へ帰る時は、夜行バス利用当然を實行。



料理出来る日が早く来ることを願って、

## ジャイチツアーに参加して

笠原直枝

ちの落着くかなかなか良い場所にある。近くに国有林の緑があり水の便、電気カトマンズから二十五キロという利便性ヒマラヤが展望出来る等々選定の目の確かさであろう。標高一、八〇〇米のカカニに一番適した作物は何であらうか。とにかく、まず行動に移してやってみるという精神、数年後には、適作物が見出されていることだろう。試作のいちご「女峰」はどんな実をつけるだ

内田さんは、時間を有効に使う術の長けた人。盛岡へ帰る時は、夜行バス利用当然を實行。

# 百聞は一見に如かず 柳園綾子



私たちが文章の会議の主旨は、「女性を女子大学国際女性学研究所」は、92年春に日本で開催された「第二回アジア女性会議」に出発した。この会議では、「アジア」は、草の根で活躍する十八人のゲストスピーカーを迎え、日本全国からは、延べ千人を超える女性たちが集まった。女性を取りまくさまざまな問題を、アジアの視点で取り組んでいくための指標を模索し合った。この会議の主旨は、「女性を取り巻く問題が一向に解決されず、状況は深刻化している。また、アジアへの関心がかつてないほど高まっていることから『女性』という共通項で支えあう関係を作り出し、21世紀に向けてアジア地域の人々と共生していく未来像を描き出す」ということだった。

私たちは「アジア女性会議」によって、アジアのかかえる問題の大きさ、殊にアジアの女性の悲惨な現状を知り、ショックを受けた。アジアの一員として何ができるのか。性差別と貧困と女性たちが生きているアジアの女性たちに、どう貢献できるのか。私たちのアジア女性に対する関心は高まった。

その後、私たちは国際女性学研究所で、「国際女性の地位協会編『国際女性別』」を読み、女性問題、特にア

ジアの女性問題にどう貢献できるのかを検討した。私たちは、最貧国の一つであるネパールに焦点をあてて研究することにした。ネパールに入った人の目には、ヒマラヤの壮大な景

## 今、カカニ農場では

カカニの農場を訪れることも今回七回目となりまして。予定では八月下旬から十月下旬までの一ヶ月程度のもつもりでしたが、因らずも三ヶ月のビザが取得できその後一年間のビザを申請したところ、二ヶ月間の観察期間を再取得でき、二月の下旬まで滞在することに変更しました。

前号に書きましたが、今年には異常気象で雨期が遅れサツマイモも七月に入ってからやっと定植ができたような状況で、収穫も十月になっしまいました。来年、附近の農家へ苗を配布する予定で種イモは多く貯蔵しました。

水稲も今年は、ネパールの高地向の二品種を試作しましたが、そのうち二品種は成果も良く、米年の種子用にと異品種は取り除き、収穫しました。稲ワラは牛の飼料や堆肥の原料。またマルチにも重要ですので、現在、水田面積も今までの

観は言うまでもないが、田圃はいたる所四季とりどりの緑や花の色に彩られ、村々には石造りの家が立ち並び、山の斜面は段々畑が整備されていて、一見豊かな国のように思われるであら

地以上に増やすべく、雑草の生えていた荒地を造成中です。また、一年中水が湧き出る所を利用して貯水池も作成中、来年から雨期が遅れても、ある程度予定どおりの作付ができるものと思っております。

昨年の十月に持参した苺（ハウス栽培用の品種）は、九月上旬に定植したところ次々と開花し、十一月より収穫しております。今年も露地栽培のつもりで植えてしまひ、これからの一月、二月にかけて、夜間の低温が心配ですが、ビニールトンネル設置は行わず、様子を見るつもりです。日本では、十二月より出荷するため、夏場に低温室に入れ



カカニ農場で活躍中の松浦指導員

が、ここは夏期の温度が低いと、山間地と露地で日照も少なく、自然状態で十一月よりの収穫が可能です。時期も丁度乾期にあたり、雨もほとんど降らず、夜間の低温さえ防げれば、伸々面白い作物（品種）だと思っております。大使館に在留手続きのため倒れた折、持参したところ、今の時期にこんな立派な苺ができるのかと、びっくりしておられました。

タマネギも四品種植

う。壮大な自然から与えられる恵みと試練。ネパール女性が運命だと信じている性差別と貧困という二重の苦しみ。年々、日本との交流と友好が円滑に深まってきたネパールの本場の

小麦を播種し、一月には二〇〇キロ以上のジャガイモを植える予定です。

六月播種の大根品種比較では、こちらの品種より、現在日本で多く栽培されている「お徳」「おせん」「車力」などの交配が良い結果でしたが、種子の価格が高いことが大きな問題です。

現在、二回目の八月下旬に播種した、寒温早生大根の種子を採る予定でいます。今年の二月に播種した

妻を知るために、私たちはネパールの環境問題、女性の現状について勉強した。勉強して得た知識をもって、私たちは93年三月ネパールに足を踏み入れる予定である。自分の目で、産

ネパールを知ることができていることを期待している。

柳園綾子は、文章女子大学山下ゼミのゼミ長、二月のネパール訪問で、何を感ずるか楽しみにしている。



農業指導員 松浦 浩

# お知らせ

## ◆奨学金提供者募集

前回の第三号広報誌で、玉木衛さんが「新しい家族が出来ました」で、喜んで下さった、奨学金の提供者を募集しています。

ご希望の方は、事務局へご連絡下さい。

実施内容の概略は下記。

・提供者と受給者は、基本的に、親子になる気持をお待ち下さい。

・提供期間の目安は、十年間を目標にして下さい。

・金額は、年額六万円を予定して下さい。

・お申込がありましたら、以下の順序で、ジャイチが、受給者との連絡を致します。

申込受付→ジャイチネパールへ、受給者の選定依頼

・提供者と受給者は、基本的に、親子になる気持をお待ち下さい。

・提供期間の目安は、十年間を目標にして下さい。

・金額は、年額六万円を予定して下さい。

・お申込がありましたら、以下の順序で、ジャイチが、受給者との連絡を致します。

申込受付→ジャイチネパールへ、受給者の選定依頼

・提供者と受給者は、基本的に、親子になる気持をお待ち下さい。

・提供期間の目安は、十年間を目標にして下さい。

・金額は、年額六万円を予定して下さい。

・お申込がありましたら、以下の順序で、ジャイチが、受給者との連絡を致します。

申込受付→ジャイチネパールへ、受給者の選定依頼

・提供者と受給者は、基本的に、親子になる気持をお待ち下さい。

・提供期間の目安は、十年間を目標にして下さい。

・金額は、年額六万円を予定して下さい。

・お申込がありましたら、以下の順序で、ジャイチが、受給者との連絡を致します。

申込受付→ジャイチネパールへ、受給者の選定依頼

・希望者の紹介→提供者の了解→受給者のネパールでの受取口座開設→提供者へ、受給者の口座番号の通知、及び、本人の氏名、年令、入学予定校名、写真の引渡し→入金開始。の順です。

・以後、毎年一回、受給者の親子は、子供の成長した写真と共に、近況を提供者へ報告します。

お申出をお待ちします。

・費用 三十一万円を予定

これで、出国から入国まで財布は不要です。

・今年も実施します。

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

日程 十一月十三日(土)から二十一日(日)の八泊九日。

費用 三十一万円を予定

これで、出国から入国まで財布は不要です。

・今年も実施します。

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

日程 十一月十三日(土)から二十一日(日)の八泊九日。

費用 三十一万円を予定

これで、出国から入国まで財布は不要です。

・今年も実施します。

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

日程 十一月十三日(土)から二十一日(日)の八泊九日。

費用 三十一万円を予定

これで、出国から入国まで財布は不要です。

## ◆JAITI・ネパール農場と学校訪問の旅、参加者募集予告

今年も実施します。

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

日程 十一月十三日(土)から二十一日(日)の八泊九日。

費用 三十一万円を予定

これで、出国から入国まで財布は不要です。

・今年も実施します。

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

日程 十一月十三日(土)から二十一日(日)の八泊九日。

費用 三十一万円を予定

これで、出国から入国まで財布は不要です。

・今年も実施します。

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

日程 十一月十三日(土)から二十一日(日)の八泊九日。

費用 三十一万円を予定

これで、出国から入国まで財布は不要です。

・今年も実施します。

ご希望の方は、今から日程を組んでおいて下さい。

日程 十一月十三日(土)から二十一日(日)の八泊九日。

費用 三十一万円を予定

# シエルバ先生、ありがとう

世界各国より、寄せられてきました。しかし、取って申しますと、例外を除いては、単に経済的に優位な人達が自身の売名行為、自己満足の手段として「援助」なる言葉を利用したに過ぎません。

学校を例にとりまして、校舎を建て、制服を作り、間校式に出席し、二、三年運営費を支援して、二、三年の道を進んで来たのだから、後は当事国の政府なり、人

が維持して当然と、投げ出してしまっています。

支援の継続を要望しても政府予算で決めたことだから、ここ迄の計画と決めていたのだから、長期予定だったが、事情が変わったと断られるのです。

これでは、子供を生んでおきながら、親の勝手な放り出すのと、何等変わりありません。

残された子供は、遠方に暮れるのは当然です。

何故、生徒達が自立出来る迄、継続・維持しないのでしょうか。

ジャイチは、多分は遅いかも知れませんが、子供達が卒業して、自立して、そして自分達の学校を、維持出来るようになる迄の計画を、着実に、一歩一歩実行の道を進んで来ました。

第二には、売名行為でなく、いと理解されたことです。



▲シムバンジャン教室と便所、四月開校

## ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何れも心に留めて下さり、感謝申し上げます。運営されている財産その他について説明とお断り、を致します。ご協力をお願いします。

1. ジャイチ基金——財団法人ジャイチの基本財産を確保  
基金を信託銀行で運営し、その集まり(運用費)でジャイチ活動の基本部分を確保することを目的としています。短期、中期、長期、長期のようなものがあります。  
●基金が大きくなればなるほどジャイチの活動が豊かになります。  
●基金へ寄附して頂いたお金は何十年何百年あともジャイチと共に豊穡の魂が残り続きます。(現在ジャイチは財団法人設立申請書を長野県に提出しています。)
2. ジャイチ維持費——ジャイチの運営維持費  
基金から生み出される財産では今のところ活動に不足を来しません。そこで今必要な活動に使わせて頂く目的のものです。一年毎のように春集めでお金の集まりを終わります。  
●自分の親、この維持費はジャイチの活動に欠かせない費用です。
3. ジャイチ事業費  
新たに大きい費用がかかる事業を計画した時にその応援費用として確保することを目的としています。  
●通常の予算(ジャイチ基金の集まり、ジャイチ維持費で賄われる)では賸りきれない時に臨時に集める目的の寄附金です。  
●必要時に皆さまにお断りのお知らせをさせていただきます。

ジャイチでは上の3つのような形で寄附をお願いしております。別に寄附下さったのか、お教え頂きますと幸いです。もしも別に指定のない場合は基金と維持費に半半ずつ使わせて頂きますのでご了承下さい。

振込先 郵便振替 長野3-40434 ジャイチ  
世 所 番 306-05 長野県小県郡石川町49番  
電 話 0268-85-3465 FAX 0268-85-3593

尚、金額に関しては規定がございませんので、お断りお取り自分でお決め下さいませ。ようお願いします。例えば、収入の1%を、小遣の1%を、的な考えは如何でしょうか。

## ○編集後記○

ネパールのトレッキングガイドのシエルバから、クリスマスカードが届きました。封筒、切手、ヒマラヤの写真を添えていると、ネパールのことがついさうのうのように脳裡に甦ってきます。

ジャイチ事務所もそんな雰囲気を大切にしてゆければと願いつつ、ご寄附頂いた板で新年版を作りました。ジャイチをささえてくださる方々がひとりでも多く集い活らうために。